

平成29年第1回小松市議会定例会質問一覧
(2月27日 1番～8番 ・ 2月28日 9番～12番)

※ 2月27日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
1	○		片山 瞬次郎	<p>1. 下水道事業におけるコスト削減をどこに求めるか</p> <p>(1) 下水処理施設の消費電力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道事業の経営のポイントとして ・ 下水処理施設の送風機のICTでのコスト削減は可能か <p>2. がん対策費について</p> <p>(1) がん対策費81,700千円について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検診状況と今回の胃がん検診の内容と特徴 ・ 各種がんの発生状況など <p>(2) がん検診特別対策費3,100千円について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クーポンの現状と効果 <p>(3) 小松市独自のがん対策は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民病院との連携施策 ・ がん登録の現状と活用 ・ がん教育の進展は ・ 就労と治療をどう調和させていくのか <p>3. 小松市における産後ケア事業の状況は</p> <p>(1) 産後間もない産婦へのサポートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談センターとフォロー ・ 産後うつ防止策などについて ・ 施設との連携 <p>4. サイエンスヒルズこまつ ひととものづくり科学館の魅力アップについて</p>

※ 2月27日

順 番	質問区分		質問者氏名	発 言 通 告 要 旨
	一括	一問 一答		
1	○		片山 瞬次郎	(1) ひととのづくり科学館魅力アップ費 ・ 概要と特徴 ・ 工夫されている面は (2) もっと入館しやすくするために ・ リピート客と施設利用者の裾野を広げる施策は ・ 館内料金と駐車場 ・ 新しい学習指導要領での科学教育の重要性はさらに拡大 ・ I o T, A I など, 第4次産業革命に対応の科学教育の ヒルズに ・ 文化・教育には, 将来の最大の投資

※ 2月27日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
2	○		橋本 米子	<p>1. ごみ減量化・リサイクル率向上に向けた新制度について</p> <p>(1) ごみダイエット50%について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下半期（10月～3月）で無償配布数は22万パックという が、市民が購入されたダイエット袋はどれ位になったのか ・ ごみダイエット50%の目的と、不足分を購入しなければ ならない（有料化）制度の矛盾をどう考えるのか <p>(2) 家庭用コンポストやスマートコンポストの活用・普及につ いて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この間のコンポスト設置数，補助金額，又，スマートコ ンポストのモニター数は，どう拡大されてきたのか ・ 町内会，女性団体，各種団体でコンポストやスマートコ ンポストの丁寧な普及努力が必要 ・ コンポスト購入に関わる補助金通知への市民の声につ いて <p>2. 小松市立保育所の運営について</p> <p>(1) 公立保育所に正規保育士の採用，看護師・事務職の配置が 求められる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この間，正規の保育士が8年間採用されていない ・ 正規保育士の年齢構成は，50歳代が23%，40歳代が49%， 30歳代が25%，20歳代はわずか3%となり，バランスを 欠いている <p>(2) 公立保育所が認定こども園へ移行する理由は何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3カ所は公立保育所として残すと決定されていたので，

※ 2月27日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
2	○		橋本 米子	<p>そのまま残すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認定こども園の入所は直接契約制度となるが、公立保育所が認定こども園となった場合でも、市の保育責任は今までと同じか ・ 認定こども園では、教育的「事業」が進まないか <p>3. 高校生、公立小松大学生への学びの保障について</p> <p>(1) 小松市奨学金の拡充が必要と思う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、中学3年生で、就学援助の受給者数は102名であるが、高校生への奨学金の認定者数は毎年10数名であり、抜本的な拡充が必要と思う <p>(2) 公立小松大学で奨学金制度や授業料減免制度は考えているのか</p>

※ 2月27日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
3	○		吉本 慎太郎	<p>1. 人材育成は行政永遠の使命</p> <p>(1) 小松市高等教育振興基金条例について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 概要とその目標, 市民への周知方法 ・ 地域活性化に寄与する人材育成とは ・ 公立小松大学を中心に「学び」に関する施設の相互活用を <p>2. 学校現場での「いじめ」について</p> <p>(1) 市内小中学校及び市立高校での報告件数及びその対応</p> <p>(2) 「ネットいじめ」の現状をしっかりと把握しているか</p> <p>(3) 教師の「言葉によるいじめ」はないか</p> <p>(4) 金沢市教育委員会のいじめに関するアンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「被害者も悪い」という設問に疑問を感じる ・ 「何があろうといじめは絶対にいけない」という指導を

※ 2月27日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
4	○		宮川 吉男	<p>1. 北部地区のこれからの展望について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 北部地区のまちづくりについて <p>2. 子育て支援の拡充について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 放課後児童クラブの無料化(2) 病児・病後児保育の無料化(3) プレミアム・パスポートの拡大 <ul style="list-style-type: none">・ 上記それぞれの本市の対象者数と本市独自の拡充の考え

※ 2月27日

順 番	質問区分		質問者氏名	発 言 通 告 要 旨
	一括	一問 一答		
5	○		宮橋 勝栄	<p>1. 人口の転入・転出について</p> <p>(1) 転入者について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 増えている要因について <p>(2) 転出者について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 増えている要因について <p>2. 公立小松大学について</p> <p>(1) 学生の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018年問題の中での学生確保への具体的な方策は <p>(2) 財政の見通しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3キャンパスそれぞれの維持管理費について ・ 交付税について <p>3. ごみダイエット袋制度について</p> <p>(1) 制度開始後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの実績と見えてきた課題について <p>(2) 今後の制度設計について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新ごみ焼却炉を見据えてゼロから制度設計をすべき

※ 2月27日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
6	○		浅村 起嘉	<p>1. 働き方改革について</p> <p>(1) 行財政改革では</p> <ul style="list-style-type: none">・ 固定費における人件費は・ 市職員数の現状は・ ワーク・ライフ・バランスと待遇は <p>(2) 学校にも働き方改革を</p> <ul style="list-style-type: none">・ 業務改善と勤務時間は・ 部活動の休養日は <p>2. 食品ロス削減について</p> <ul style="list-style-type: none">・ ごみ減量への新たな施策は・ 市民からの取り組みを <p>3. いしかわ性暴力被害者支援センターの開設について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 若者やSNSによる被害が多くみられるが対策は・ 予防教育についての考えは

※ 2月27日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
7	○		南藤 陽一	<p>1. さらなる地域力アップに向けて</p> <p>(1) 小学校単位の各種団体の活動拠点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町内の団体の活動拠点は各町の公民館であるが、校下単位の団体の活動拠がないのが現状である。今後、さらに地域力の向上を図るためには、校下単位の活動を高めることが重要であり、そのための活動拠が必要だと考えるが、本市の所見は <p>(2) はつらつ協議会の推進施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校下単位の各種団体が連携を図っている地域において、今後、はつらつ協議会への活動として発展させるためには、スタートの段階での市のコーディネート・サポートが必要と考えるが、本市の所見は

※ 2月27日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
8	○		吉村 範明	<p>1. 公立保育所のこれまでとこれからの在り方について</p> <p>(1) 公立保育所の役割について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 基本的な考え方は <p>(2) 公立保育所の運営について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 子どもたちの健やかな成長のため公立保育所としてどのように運営していくのか・ 選ばれる公立保育所とは <p>(3) 公立保育所の保育士確保について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 何年も正規保育士職員を採用していないが、今後どのような採用計画を行っていくのか

※ 2月28日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
9		○	杉林 憲治	<p>1. 交流人口の拡大と地域活性化への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・この一年間、日本遺産、いしかわ歴史遺産の認定、ふるさとイベント大賞で最優秀賞を受賞。更にミシュラン・グリーンガイドやミシュランガイドの掲載等、本市の歴史・文化が高く評価された。これまでの取り組みは・市民の理解と協力を得ながら、交流人口の拡大や地域活性化にどのようにつなげていくのか・2020年東京オリンピック・パラリンピックを通じて、歌舞伎文化を発信していこうとの議論や全国の子供歌舞伎団体を日本遺産に申請しようとの動きがある。実現に向けて、積極的な活動が必要である・加賀市は、山中温泉の「湯治文化」と「ろくろ技術」、また北前船文化の日本遺産認定を文化庁に申請した。加賀地域連携において、認定を期待しているが、北前船文化については、小松が申請の中に入っていない <p>2. インフルエンザの現状と予防について</p> <ul style="list-style-type: none">・小中学校、保育所、幼稚園におけるインフルエンザの発生状況は・予防接種の実施状況と市の負担は・インフルエンザの予防は万全か <p>3. 地理的表示保護制度（G I）に登録された加賀丸いもについて</p>

※ 2月28日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
9		○	杉林 憲治	<ul style="list-style-type: none">・加賀丸いもとは・小松市の生産状況と課題・地理的表示保護制度（G I）とは・ブランド力を高めるため、何をすべきか

※ 2月28日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
10		○	木下 裕介	<p>1. 教育について</p> <p>(1) 小中学校の防犯対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不審者等の発生状況について ・ 対策と注意喚起の現状について ・ 今後の対策について <p>(2) 中学校の部活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動指導の位置づけについて ・ 負担軽減について ・ 外部指導員の現状について ・ 増員の検討について <p>(3) 色覚検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年の文部科学省の規則一部改正等後の小松市教育委員会の対応について <p>2. 環境について</p> <p>(1) 食品ロスの削減に向けた取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フードバンクについて ・ フードドライブについて ・ 市の支援について <p>3. 福祉について</p> <p>(1) 障がい者への就労支援の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援拡充に向けての提案

※ 2月28日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
11		○	宮西 健吉	1. 企業版ふるさと納税について ・ 納税の流れについて ・ 企業版ふるさと納税の概要について ・ (仮称) 九谷焼創作工房について ・ 事業主体となる石川県九谷窯元工業協同組合について

※ 2月28日

順 番	質問区分		質問者氏名	発言通告要旨
	一括	一問 一答		
12		○	新田 寛之	<p>1. 安宅の魅力アップについて</p> <p>(1) 安宅ビューテラス改修費について</p> <ul style="list-style-type: none">・これまでの経緯について・利用者数の推移について・事業内容について <p>(2) 安宅フューチャーデザインに基づく安宅の関周辺整備について</p> <ul style="list-style-type: none">・今後の取り組みについて <p>2. 木曾町住宅建替事業について</p> <ul style="list-style-type: none">・事業内容について・CLT工法と防火対策について・今後の展開について